

Slavica Kiotoensia

第1号

論文

松原 繁生

『カラマーゾフの兄弟』はなぜ「誤審」で終わっているのか

深瀧 雄太

レスコフ『不死身のごロヴァン』試論

高田 映介

チェーホフ『グーセフ』における自然描写について

田村 太

ロープシンの影——日本における『蒼ざめた馬』受容の一側面

李 博聞

『ドクトル・ジヴァゴ』における「ユーリ・ジヴァゴの詩」試論
——イエス・キリスト像を中心に

辻井 麻莉

アンドレイ・タルコフスキー『惑星ソラリス』テクスチュア分析

書評

青山 忠申

服部文昭著『古代スラヴ語の世界史』（白水社、2020年）

齋須 直人

三浦清美訳・解説『キエフ洞窟修道院聖者列伝』（松籟社、2021年）

高田 映介

佐藤雄亮著『トルストイと「女」：博愛主義の原点』（早稲田大学出版部、2020年）

杉野 ゆり

Ермакова Л. М. Российско-японские отражения. история, литература, искусство
(M.: Наука – Восточная литература, 2020.)

論文題目一覧（平成30年度－令和2年度）

執筆者・編集委員・編集協力紹介

編集後記

京都大学大学院文学研究科
スラブ語学スラブ文学専修 年報

2021

Slavica Kiotoensia

京都大学大学院文学研究科スラブ語学スラブ文学専修年報1号(令和3年)

目次

論文

『カラマーゾフの兄弟』はなぜ「誤審」で終わっているのか	松原 繁生	1
レスコフ『不死身のゴロヴァン』試論	深龍 雄太	25
チャーホフ『グーセフ』における自然描写について	高田 映介	49
ロープシンの影——日本における『蒼ざめた馬』受容の一側面	田村 太	66
『ドクトル・ジヴァゴ』における「ユーリ・ジヴァゴの詩」試論 ——イエス・キリスト像を中心に	李 博聞	83
アンドレイ・タルコフスキー『惑星ソラリス』テクスチュア分析	辻井 麻莉	119

書評

服部文昭著『古代スラブ語の世界史』(白水社、2020年)	青山 忠申	143
三浦清美訳・解説『キエフ洞窟修道院聖者列伝』(松籟社、2021年)	齋須 直人	147
佐藤雄亮著『トルストイと「女」:博愛主義の原点』(早稲田大学出版部、2020年)	高田 映介	154
Ермакова Л. М. Российско-японские отражения. история, литература, искусство (М.: Наука – Восточная литература, 2020.)	杉野 ゆり	159

論文題目一覧(平成30年度—令和2年度)		166
----------------------	--	-----

執筆者・編集委員・編集協力紹介		167
-----------------	--	-----

編集後記

Slavica Kiotoensia

Annual Report of Department of Slavic Languages and Literatures

Graduate School of Letters, Kyoto University vol.1 (2021)

Содержание / Contents

Статья / Article

A Judicial Error in “The Brothers Karamazov” by Fyodor Dostoevsky	Shigeo MATSUBARA	1
Опыт анализа рассказа Н. С. Лескова «Несмертельный Голован»	Юта ФУКАТАКИ	25
Depiction of Nature in A. Chekhov’s “Gusev”	Eisuke TAKADA	49
Восприятие повести «Конь бледный» Б. В. Савинкова (В. Ропщина) в Японии	ТАМУРА Футоси	66
Образ Иисуса Христа в «Стихотворениях Юрия Живаго»	ЛИ Бовэнь	83
An Analysis of the Textures in Solaris, Andrei Tarkovsky’s Film	Mari TSUJII	119

Рецензия / Book Review

Hattori Fumiaki. “ <i>A Short History of Old Church Slavonic</i> ”	АОУАМА Tadanobu	143
<i>Миура Кийохару</i> : «Киево-печерский патерик: перевод на японский язык и комментарии»	САЙСУ Наохито	147
Sato Yusuke. “ <i>Tolstoy and Woman: A Holistic Examination into His Life and Creations</i> ”	Eisuke TAKADA	154
<i>Ермакова Л. М.</i> «Российско-японские отражения. история, литература, искусство»	СУГИНО Юри	159
Список названий трактатов 2018-2020		166
Список авторов, редакторов и сотрудников		167

Послесловие редактора

執筆者紹介(五十音順)

青山 忠申	文学研究科博士課程
齋須 直人	日本学術振興会特別研究員(早稲田大学)
杉野 ゆり	桃山学院大学講師／文学研究科博士課程
高田 映介	神戸大学大学院国際文化学研究所専任講師
田村 太	文学研究科博士課程
辻井 麻莉	文学研究科修士課程
深龍 雄太	文学研究科博士課程
松原 繁生	文学研究科博士課程
李 博聞	文学研究科修士課程

編集委員(五十音順)

佐藤 昭裕	京都大学名誉教授
中村 唯史	文学研究科教授
服部 文昭	京都大学名誉教授
堀口 大樹	人間・環境学研究所准教授

編集協力(五十音順)

大平 陽一	田村 太	塚本 善也	辻井 麻莉	長谷川 章
深龍 雄太	前田 和泉	松本 賢信	宮川 絹代	ダリヤ・リシコワ
和田 崇				

編集後記

本年 2021(令和 3)年度から、京都大学大学院文学研究科スラブ語学スラブ文学専修の年報として、『Slavica Kiotoensia』を発行する運びとなりました。人文学研究をめぐる環境は近年、困難の度を深めていますが、状況が許すかぎりには毎年1冊を上梓していきたいと考えています。本誌に掲載されている論文や書評はいずれも査読審査を経っていますが、なおご意見・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第1号にはロシアの文学と文化、比較文学の論考が集まりましたが、本誌はロシア以外のスラヴ圏・旧ソ連圏も対象とし、文学・文化以外の人文学諸分野にも門扉を開いています。

編集・発行の主体は当専修である一方、執筆資格には厳密な規定を設けません。使用言語については、当面は日本語・ロシア語・英語のいずれかを想定しています。本誌への投稿を希望される方は、奥付に記載のメールアドレス宛てにご相談ください。

本誌では抜刷を発行しませんが、掲載された論文等は、原則として電子化し、インターネット等を通じて公開します。「京都大学学術情報リポジトリ(KURENAI)」のサイトからダウンロード可能です。下記の当専修 URL からリンクできますので、ご利用ください。

本誌 1 号の発行に向けて、さまざまなかたちでご協力いただいた研究者諸氏、院生諸君に心からの謝意を表します。発行までの試行錯誤の過程で、『Slavica Kiotoensia』誌の輪郭はおおむね定まりました。この経験を基として、次号以降、更なる展開を図ってきたいと思います。(中村唯史)

Slavica Kiotoensia 第1号

2021年11月15日発行

発行所

京都大学大学院文学研究科スラブ語学スラブ文学専修
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科内
Tel: 075-753-2781 E-Mail: nakamura.tadashi.6r@kyoto-u.ac.jp
URL: https://www.bun.kyoto-u.ac.jp/slavic_lang_lit/sll-top_page-3/

印刷所

中村印刷株式会社
〒601-8133 京都市南区上鳥羽藁田 29
Tel: 075-682-7666 Fax: 075-682-7677

Slavica Kiotoensia

vol.1

Статья / Article

Shigeo MATSUBARA

A Judicial Error in “The Brothers Karamazov” by Fyodor Dostoevsky

Юта ФУКАТАКИ

Опыт анализа рассказа Н. С. Лескова «Несмертельный Голован»

Eisuke TAKADA

Depiction of Nature in A. Chekhov’ s “Gusev”

ТАМУРА Футоси

Восприятие повести «Конь бледный» Б. В. Савинкова (В. Ропщина) в Японии

ЛИ Бовэнь

Образ Иисуса Христа в «Стихотворениях Юрия Живаго»

Mari TSUJII

An Analysis of the Textures in Solaris, Andrei Tarkovsky’ s Film

Рецензия / Book Review

АОУАМА Tadanobu

Hattori Fumiaki. “A Short History of Old Church Slavonic”

САЙСУ Наохито

Миура Кийохару. «Киево-печерский патерик: перевод на японский язык и комментарии»

Eisuke TAKADA

Sato Yusuke. “Tolstoy and Woman: A Holistic Examination into His Life and Creations”

СУГИНО Юри

Ермакова Л. М. «Российско-японские отражения. история, литература, искусство»

Список названий трактатов 2018-2020

Список авторов, редакторов и сотрудников

Послесловие редактора

Annual Report of
Department of Slavic Languages and Literatures
Graduate School of Letters, Kyoto University

2021